

要 望 書

令和5年11月1日

南町調節池の工事を考える田無すすく保育園保護者有志の会

代表 佐瀬 愛 鈴木里菜

南町調節池の大規模工事計画に関する

地域住民・保育施設への生活・保育環境の保全と安心・安全の実現を求めます

《要望内容》

1. 大規模工事・大型工事車両に起因する騒音・振動・排気ガス等による、地域住民と近隣保育園児等への健康被害防止と安心・安全を保障するための十分な対策を求めます。
2. 市民の憩いの場であり多くの保育園児が利用している南町一丁目第一公園、南町第2児童遊園並びに隣接する遊歩道の閉鎖計画を見直し、現存のまま利用できるよう計画の変更を求めます。

近年の局地的な大雨による甚大な被害報道から、今回の治水事業は都民にとって欠かせない事業であることは地域住民の一員として十分理解し、そのための協力は惜しまないものである。しかしその工事方法・内容が地域住民の日常生活への配慮に欠ける部分があり、地域住民・近隣保育施設への影響は多大なものと考えられるため計画の再考を求めるものである。

【大規模工事計画に関して】

1年目は石神井川南側に幅4メートルほどの工事車両専用道路を造り、その後の9年間は本工事となり1日平均60台(往復120台)最大190台(往復380台)の工事車両を時速10キロで走行させる計画。

- 単純計算で通常時に6時間・多いときには20時間も車両通過に時間がかかることが予想され、途切れのない大型工事車両の通行により、排気ガス・騒音・振動などによる地域住民・保育園児・職員への心的ストレス・健康被害の心配と共に、保育園児の健全な発達の保障・質の高い保育環境の確保が困難となる。
- 工事車両の通過・待機時間により武蔵境通りの混雑渋滞が予想され、それを避けるために迂回車両の近隣道路への流入が心配される。そのことにより地域住民の外出、保育園児の送迎・散歩にも危険が生じる可能性があり大変不安である。

【公園・遊歩道の閉鎖計画に関して】

石神井川南側の遊歩道、南町一丁目第一公園、南町第2児童遊園を閉鎖して、公園の樹木と石神井川沿いの樹木を伐採し調節池と石神井川南側周辺地域を含む一帯を高さ3～4メートルの防護壁で囲む計画。

- 調節池は直接工事に関わる場所であるため閉鎖はやむをえないが、調節池以外の公園までを閉鎖されると、近隣には子ども達や保育園児が安全に安心して遊べる場所がなくなってしまい、老若男女の市民が憩う場所もなくなってしまう。
- 西武線沿いの遊歩道が残され東西を結ぶ代替歩道とする計画であるが、高い防護壁と西武線の土手に挟まれるため犯罪誘発の危険性が考えられる。
- 市民に潤いを与えてきた石神井川や公園の樹木の伐採は、市民財産の損失であり貴重な自然環境の喪失となる。

地域住民と保育園児・職員が安全に安心して生活できるよう1、2についての対応を切に要望いたします。

以上